

新たに農業を始める人を応援！

新規就農者支援事業

- 対象者 ※要件を全て満たすこと
 - ▷ 町内に住所を有し、年齢が18歳から60歳までで、新たに就農する人(町外の方は町内に住所を移すこと)
 - ▷ 受入農業経営体などで月8日以上研修を受け、研修期間が6カ月以上の人(外部研修含む)
 - ▷ 事業終了後、町内で2年間以上居住し、就農できる人
- 支援期間…2年間
- 支援内容
 - ▷ 研修支援金…月額5万円(定額)
 - ▷ 居住費支援金
家賃の2分の1以内(上限2万円)
- 申請方法
農林振興課に申請書類を提出してください。書類の審査と面接を行い、その後決定します。
- 申し込み・問い合わせ先
農林振興課 ☎46-5564



こだわりのワイン造り

自家製パンに合うワインを造るために設立された果実酒工房「平泉ワイナリー」。これまでは町内や近郊産リンゴを原料としたシードルを中心に一関市産のブドウなどでワインを造ってきました。2020年1月には自社栽培した平泉産のブドウを使って町内で醸造した「純平泉産のワイン」が、ついに販売される予定です。

イチオシ！

東稲山麓シードル (750ml、1,700円)

東稲山のふもとで収穫された新鮮なリンゴを発酵させて作ったお酒。酸味のあるリンゴを使っており、すっきりとした辛口の味わいに仕上がっています。



①3年前から栽培を始めた長島地区のブドウ畑／②9月16日に開催されたブドウ畑での収穫体験会／③体験会では首都圏からの参加者が実ったキャンベルをはさみで1房ずつ収穫した／④自社栽培のブドウを原料としたワインは今年初めて醸造した



自社栽培のブドウでワイン造り
関根さんの夢は、自分が栽培したブドウを使ってワインを造ること。16年11月から長島地区の中山間地域の耕作放棄地90アールを開墾して、生食用のナイアガラ、キャンベル、デラウェアや、ワイン醸造専用品種のピノ・ノワール、シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブランの苗木を植栽。ブドウの出来具合は天候に左右され、ワインの品質にも大きく影響します。関根さんは「栽培を始めて今年で3年目。ようやくワインに使える良いブドウが収穫できた」と満足げな笑顔を見せ、販売に向けて作業を進めます。

地元で愛されるワインに
「近年全国的に国産ワインやシードルへの関心が高まりつつあります」と話す関根さん。「平泉産ワインをきっかけに、もっとワインを身近なものに感じてもらえればと思います。地元にある素材の良さを生かした、地元で愛されるワインを目指したい」と製造意欲を高めています。「ワイナリーの運営は基本的に一人で行っているため大変ですが、ワイン造りに挑戦できて毎日が楽しい」。関根さんの夢への挑戦はまだ始まったばかりです。

この事業も注目！

農業を通じて新たな観光スポットをつくる

- ▶ ライス・アート in ひらいらいずみ
農事組合法人アグリ平泉が、農業体験を通して地域交流や農業と観光の融合を図るために始めた事業で、今年で11年目。水田に描かれた巨大な絵柄は、毎年多くの人を楽しませています。
- 場所…長島宇矢崎地内の圃場
- 期間…毎年6月～10月下旬



Chapter 4

果樹 × お酒

平泉町をワインの産地に

町内初のワイナリーとして2017年に誕生した果実酒工房「平泉ワイナリー」。そこにはワイン生産未開の地である平泉町で「純平泉産ワイン」誕生に向けてブドウ栽培とワイン醸造に情熱を注ぎ挑戦する一人の男の姿がありました。

果実酒工房「平泉ワイナリー」
ワイン醸造責任者 関根康之さん(13区)

<profile>

1972年東京生まれ。大学卒業後、食品卸会社勤務を経てフランスのボルドーに留学。ボルドー大学醸造学部でワイン造りを学び、複数の醸造所で修業。2016年に平泉町に移住し、自らの手でブドウを栽培し、ワイン醸造に取り組んでいる。

一からのワイン造りに挑戦

農事組合法人アグリ平泉の果実酒工房「平泉ワイナリー」で、ブドウ栽培とワイン造りに取り組む関根康之さんは、「平泉の地で一からワイン造りに挑戦すること決心し、2016年に東京都から平泉町に移住。町の研修制度「新規就農者支援事業」を活用して、同法人で2年間、研修生として農業のノウハウなどを学びました。また町6次産業化促進支援事業などの助成を受け、同法人が以前使っていた事務所を改築して醸造所を整備。17年1月に「果実酒製造免許」を取得し、平泉ワイナリー第1号製品となる地場産リンゴ100%のシードルを完成させました。



長島地区にある平泉ワイナリーの醸造所

耕作放棄地を有効活用する

長島地区では耕作放棄地が増えており、その土地を有効活用できないかと考え、当法人でワイン用のブドウ畑を始めました。会社の発展につなげるため、従来の小麦と大豆の生産だけでなく、果物の品種を増やしたり、6次産業化にも積極的に挑戦していきます。



農事組合法人アグリ平泉 代表理事 佐々木正さん(20区)



きんいろぱん屋 店長 青木由美子さん(12区)

パンによく合うシードル

辛口タイプの東稲山麓シードルはパンによく合います。ぜひ町内産のシードルとパンと一緒に食べてみてください。



これがお薦め！
くるみといちじくパン(350円)